
大切な人

光琉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

大切な人

【Nコード】

N9157H

【作者名】

光琉

【あらすじ】

三蔵が悟空の元を去る…！？気になった人はタイトルを押ししてください！

（前書き）

私の友達が考えた作品です。感想よろしくお願いします。

俺は…

大切な人を作つては…

いけないんだ…

俺は…

大切な人を作ると…

必ず大切な人がキエル。

だから、俺は…

大切な人を作らない。

そう自分に誓つたのに…

誓つたのに…

その誓いを破つた。

俺には大切な人が出来てしまった…

こいつもお師匠様と同じでキエテシマウダ。

だから、俺はこいつを切り離す。

それもこいつの為であり、俺の為でもある…

大切なあいつがキエナイように…

大切な…あいつが…

キエルところを俺は見たくないから…

俺がこいつを大切だと思ってしまったのは…

つい最近だ…

あいつは無邪気に俺に話しかけてくる。

俺はつい相手にする。

だが…ある日俺は気づいた。

こいつが俺の傍にいとこいつがキエルかもしれない…

キエたら俺は…

何をどうすればいいんだ

だから、俺は…

仕事と嘘を言っ

あいつから離れた。

連れて行って！

と、言われたが断った。

なんせ、こいつから離れなきゃなんねえのに
何故連れて行かなきゃならねえ。

俺は長安の寺院を絶った。

長安を絶って二日が過ぎた。

あいつは今頃一人でなにをやっているんだろう。

悟浄達のところに遊びに行ったのか？

等しい考えてしまう。

それほどあいつが大切なのか？

あいつは三か月前に捨ててきただけだろ？

俺は自分に自問する。

だが、答えられない。

それほどにまで

大切になっちまったのか。

不思議なものだ…

たった三か月であいつと居るのが当たり前になった。

やはりあいつがいないと

周りの景色が暗くなる…

あいつの泣き顔がフツと頭の中見えた。

あいつの泣き顔は見たくない。

だけど…

だけど…俺は…

…泣き顔を見るくらいなら…

俺は…俺は…

どうすればいいんだ…

大切な人。

そう思うようになったのは…

あいつのせいだ…

…チツ、

しょうがねえな。

帰ってやるよ…

あいつが…あいつが…待っている寺院へ…

俺は早足で寺院へ行く。

あいつの顔がみたい。

それもあつたが、

なによりも、あいつが寺院に居るかが心配だ…

俺は寺院まで少し走った。

寺院に着いたら早くあいつの顔が

見たくて、見たくて。

自分の部屋のドアを開ける。

あいつが居ることを祈って…

ガチャッ…

そこには…

泣き顔のあいつが居た。

「…ヒック…

さん、三蔵…

あ、あれ？

な、なんで俺…ヒック…

泣いてんだろ…？

あれ？あれ？…ヒック」

「…ご、悟空」

まず最初に俺は、謝らなきゃならねえ事があった。
それは…

あいつを失うのが
怖くて、怖くて。

それで逃げたこと。

それと、あいつを

哀しませたこと。

俺はあいつを抱きしめた。

優しく、そして強く。

「…すまん…悟空」

「な、何で三蔵が謝るんだよ」

涙をぬぐってびっくりした顔で俺を見る。
金晴眼の目で俺を見る。

その瞳には、
優しく、哀しい眼差しがあった。

「悟空。

もう嘘はつかない…」

「ほえ？

三蔵が嘘ついたの？」

「ああ…すまん」

「…いいよ！

そんなくらい誰にもある！

だから…そんな顔すんなよ…三蔵」

「ああ、分かった」

もう手放さない。

たとえどんな事があるうとも。

掴んだものは何一つ離さない。

何があっても…

…絶対に。

もし別れるとしても…

居なくなりそうになっても…

俺が守ってやるよ…

絶対に……

これは、破らずに誓える。

これを破ったら……

俺は……俺は……

「三蔵？

なに深刻そうな顔してんだよ」

「あ？

なんでもないから大丈夫だ」

まずこいつが安心できるようにならしてあげよう。

不安そう顔を見るだけで……

俺は、心が痛くなる……

だから、今は安心しろよな？

例え幸せが哀しみになることがあっても

ずっと……

ずっと、俺が傍にいてやるよ……

約束だ……

אנני

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9157h/>

大切な人

2010年11月9日20時21分発行